新しい学習環境とコンテンツは、どのように行動に結びついたか

：フォーカス・グループ・インタビュー

学術コンテンツ課　庄司三千子

アカデミック・リンクの目標

- 『学習とコンテンツの近接』による
  能動的学習の実現！

【仮説】

学習環境と*コンテンツ提供環境*
の充実（一体化）が自発的な学びを促す

- 2012年2月に図書館増改築

研究目的

- 新たな学習環境の整備は、
  本当に学生の「学習」に影響を与えたか？

- 特に…
  新しい学習環境の“どの要素”が
  学生の「学習」を促したのか？

○「学習」
大学のカリキュラムに関連した学習以外の、
学生が興味や関心をもって自主的に行った、
学習・活動も含む

調査概要

- 時　　期：2013年2月
- 対　　象：本館の利用者（計22名）
  - 学部2年生以上＋院生
- 方　　法：フォーカス・グループ・インタビュー
  テーマを決めて、学生に自由に話してもらう
  - 5グループ×２時間
- テ　ー　マ：改築後に、図書館の使い方や
  勉強の仕方はどう変わったか？
  それはなぜ？

分析の枠組み

① 「学習」の分析

- どんな「学習」が行われたか？

↓

② 理由の分析

- なぜ「学習」は起きたのか？

↓

③「学習」を促した“要素”の分析

- 何が「学習」を誘発したか？

結果①
「学習」の分析
～どんな「学習」が行われたか？～

個人学習・活動（対話×）	集団学習・活動（対話〇）
勉強する（内容不明）	グループワーク（課題）
本を読む（紙・電子）	プレゼンの練習・講評
調べる	解答を見せ/教えあう
レポート・論文執筆	本を読みあう（読書会）
ペン習字の練習	建築コンペティション
テープおこし（研究）	将来について話す
インターネット	ブレインストーミングの練習
手帳に書き込み	インタビュー
寝る・ぼんやり・そのほか	サークルの企画
課程に直接関連しない 多彩な活動！	「おしゃべり」 との線引き不可能

結果②
「学習」を促した要素の分析
～何が「学習」を誘発したか？～

A．空間的要素

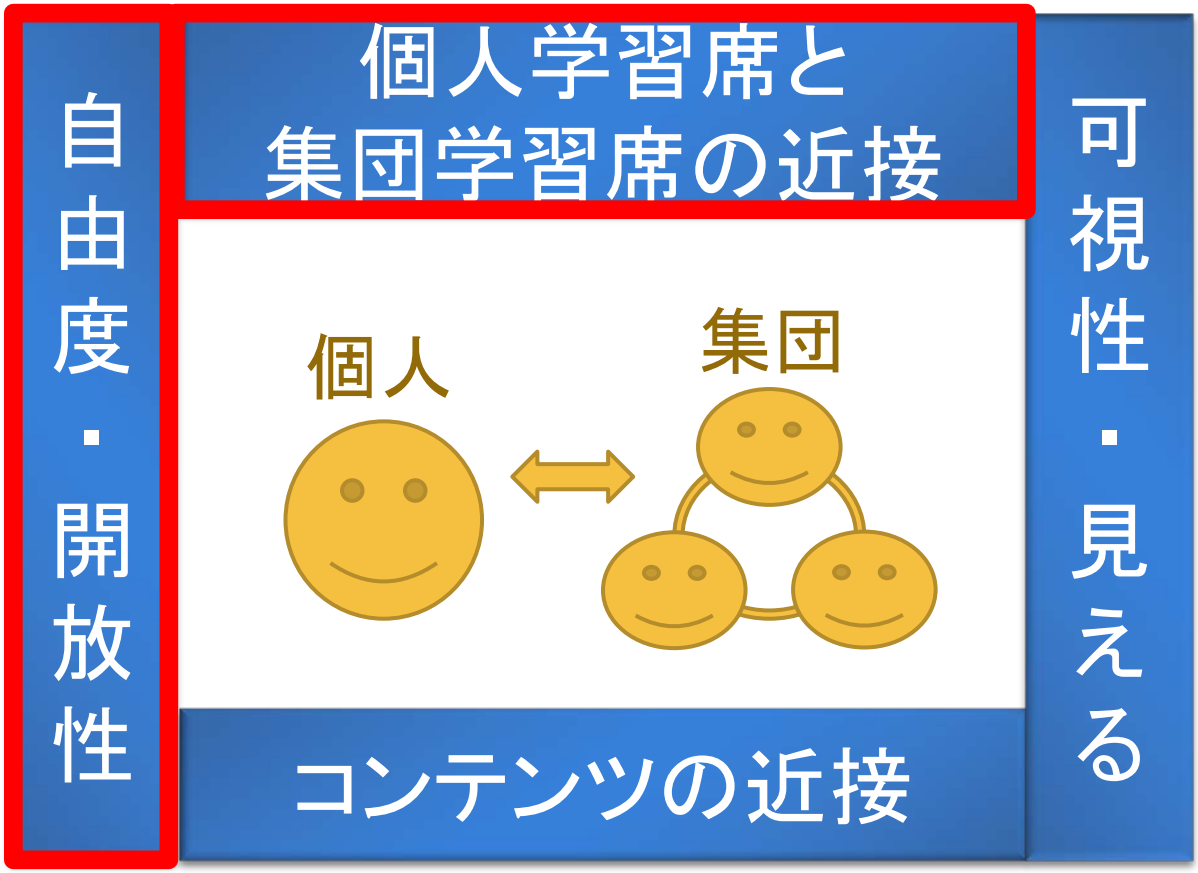
自由度・開放性

個人学習席と
集団学習席の近接

コンテンツの近接

可視性・見える

A．空間的要素

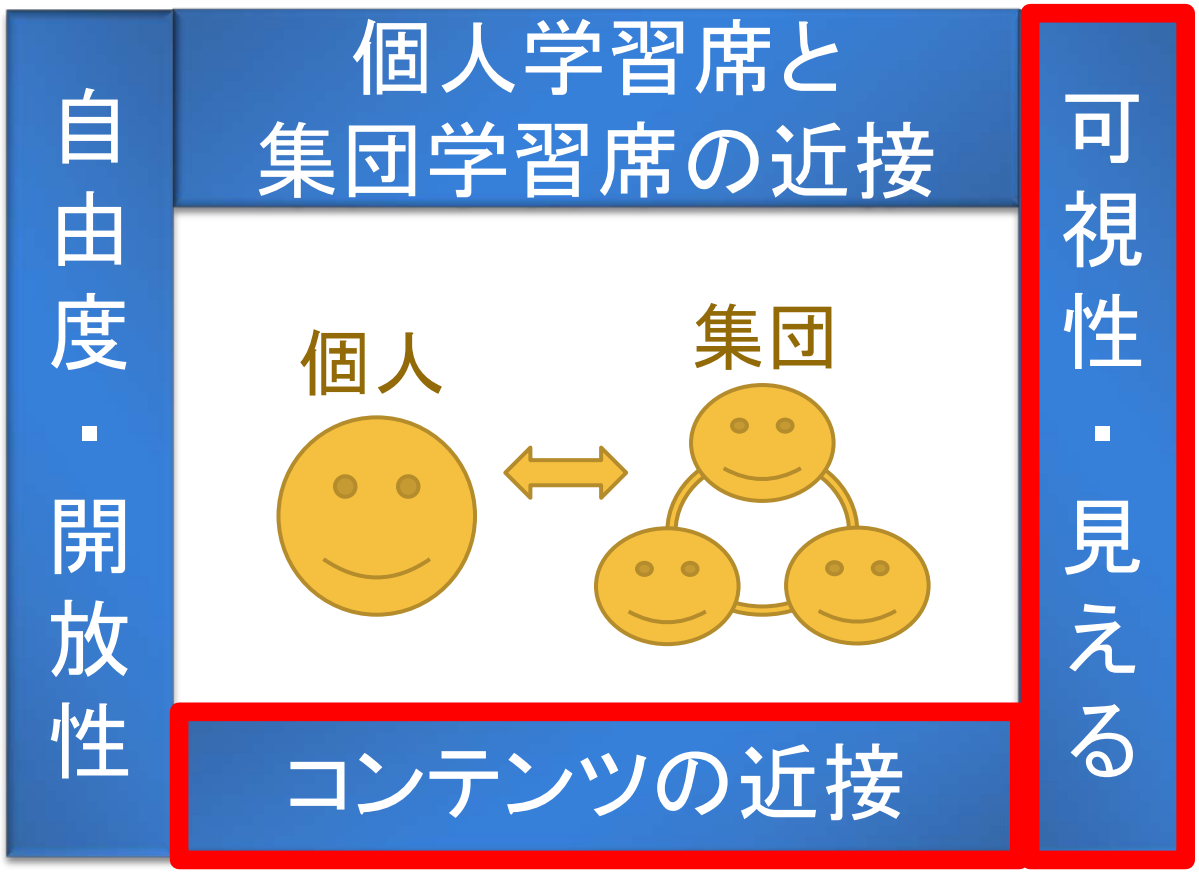


個人学習席と集団学習席の近接 ＋ 自由度・開放性

教えあい

- “（１人で勉強したい学生は）窓際で勉強して、分からない事とか、質問とかあったら、うちらがいる大テーブルの所まで来て、話して、また分かったら個人のところに戻っていく”

A．空間的要素

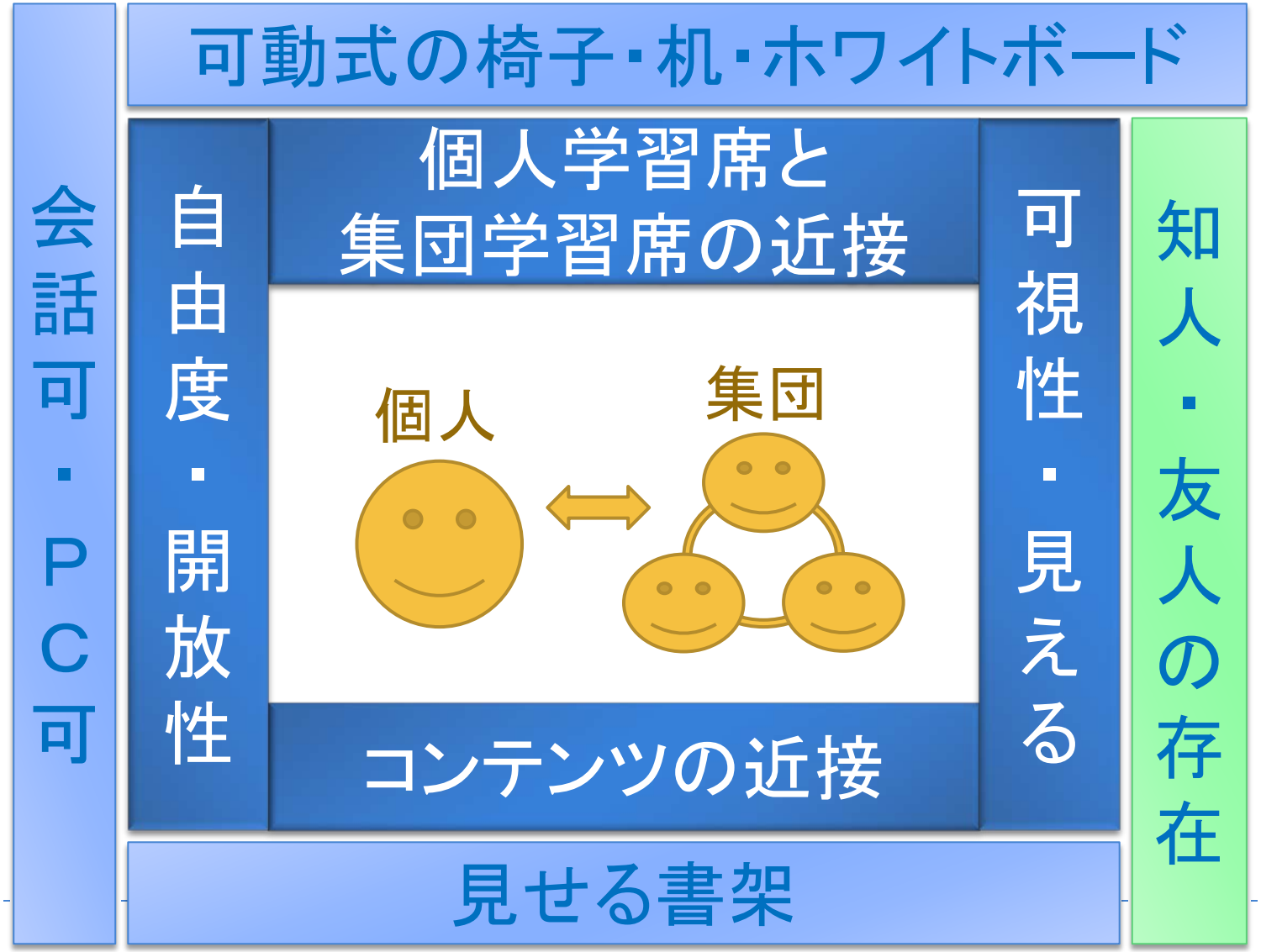


可視性・見える+コンテンツの近接

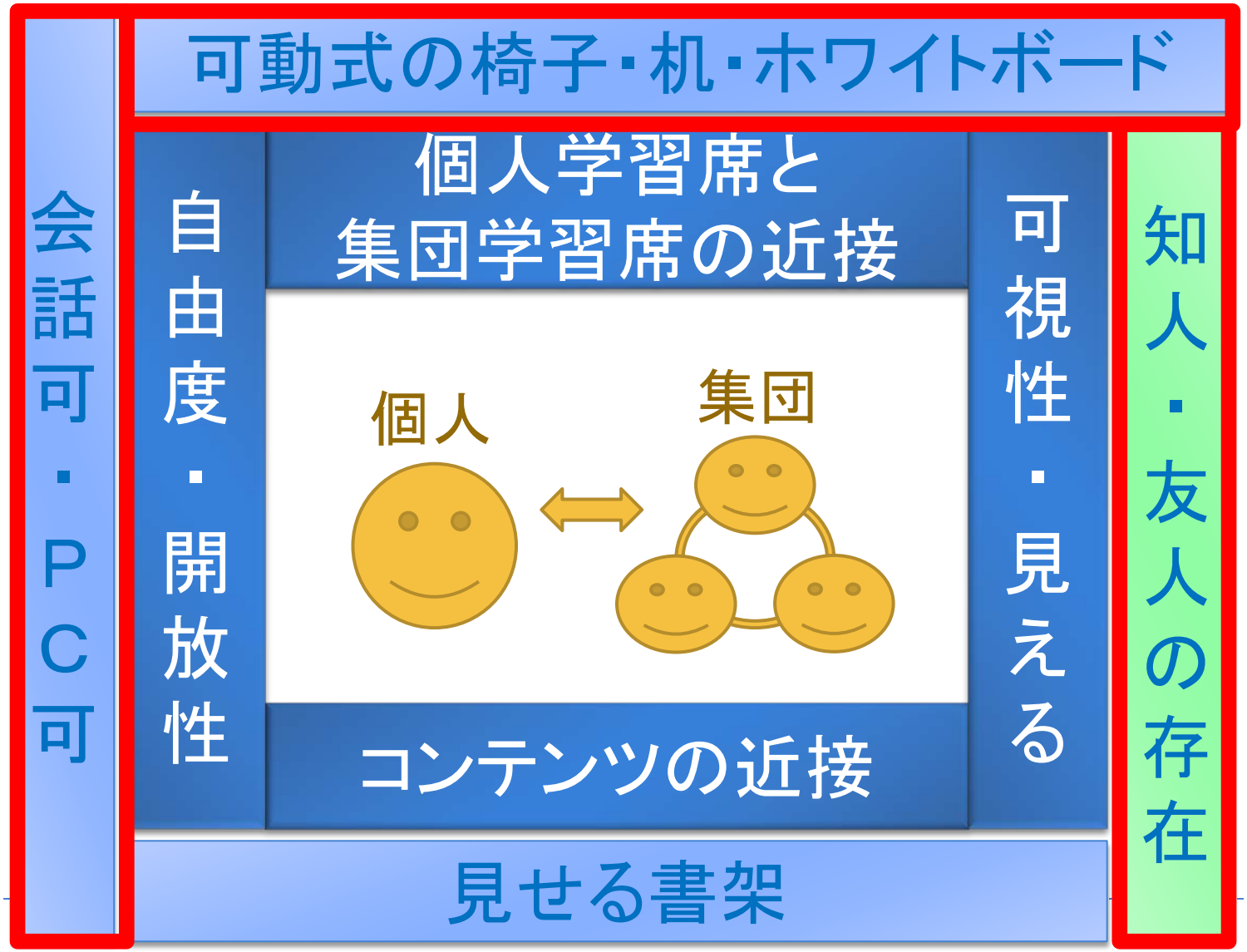
本を読む

“N棟って本棚に（本が）ぎっしり入ってるっていう感じじゃなくて、並べてある感じじゃないですか（中略）なので目にとまった本を取って、ちょっと見たりする”

B．設備・サービス・人の要素



B．設備・サービス・人の要素

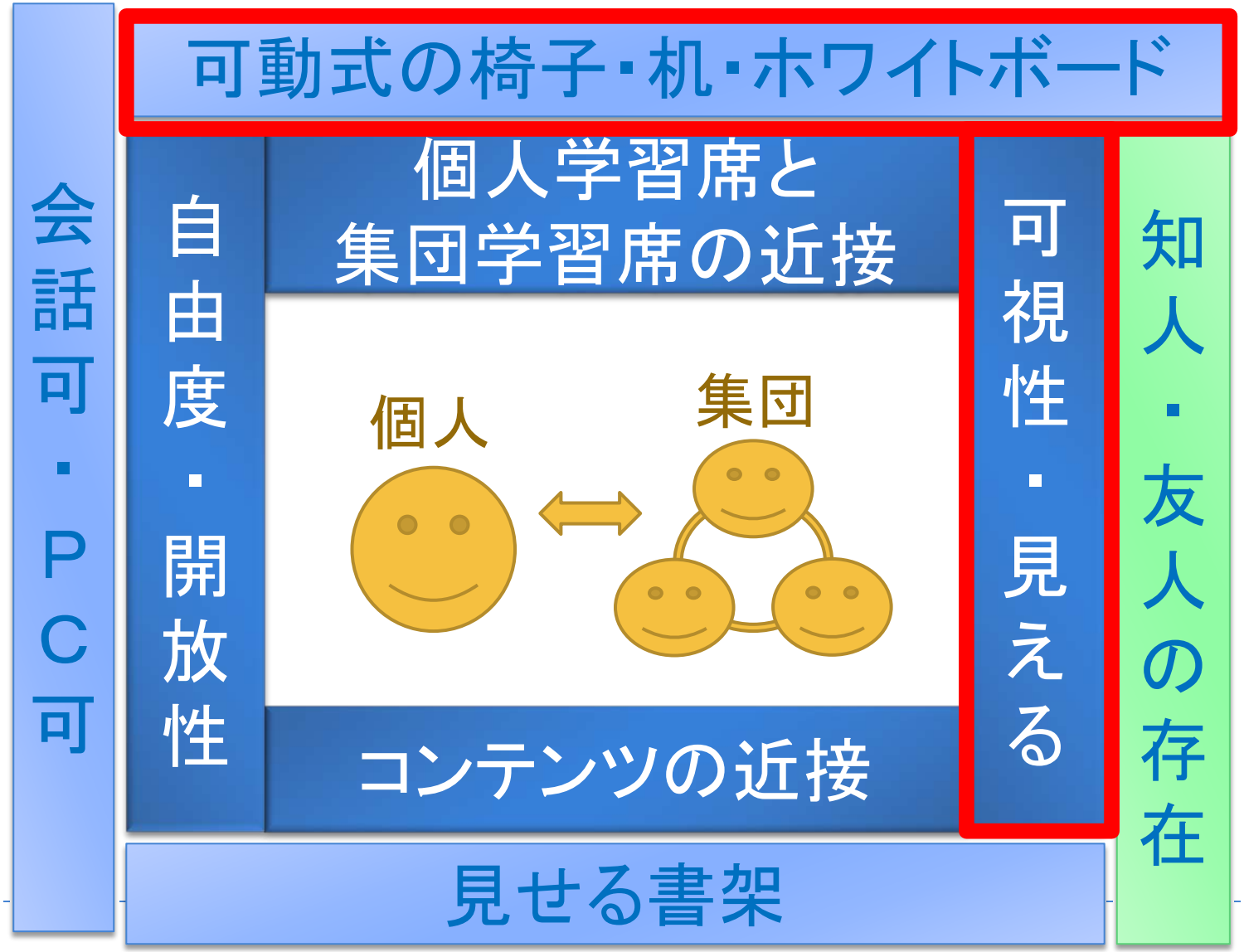


可動式の机・椅子＋会話可・PC可+知人・友人の存在

勉強する
(内容不明)

- “最初は2人とかで勉強してても、だんだん集まって（中略）最終的に10人とか15人とか集まって…そういうとき、やっぱり机、動かしてつけれるじゃないですか。だから、それはすごい動かせてよかった”

B．設備・サービス・人の要素



可動式ホワイトボード+
可視性・見える

グループ
ワーク

- 議論の活性

“ボードが入ったことで（下を向かずに）視点が高くなったんで、みんな活発に議論してる”

- 思考の共有（見える化）

“ここが分かんないんだけどみたいな（略）書きとめながら話し合えるんですごい重宝”

【仮説】

「学習」を促す空気・雰囲気
…が生まれつつある？

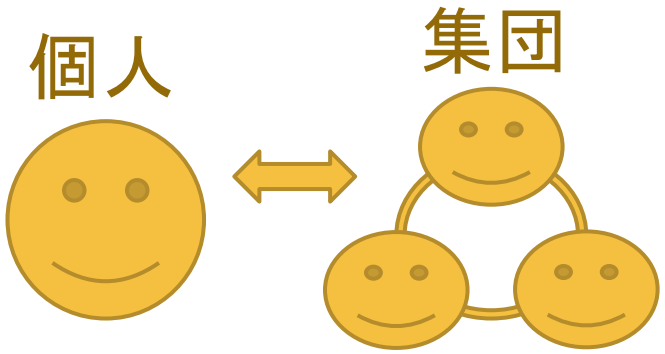
幅・余地・余白

会話可・PC可

可動式の椅子・机・ホワイトボード

自由度・開放性

個人学習席と
集団学習席の近接



コンテンツの近接

可視性・見える

知人・友人の存在

見せる書架

ゆるい連帯感

秩序と規範

①ゆるい連帯感

- みんな勉強しているので、自分も頑張る！
  - “ああ、あの子たち頑張ってるな、やんなきゃ、みたいな気持ち（になる）”
  - “すごいみんな頑張ってるなと思って、見てて楽しい（中略）千葉大ってこんなに「勉強したい」っていう学生がいっぱいいたんだって（影響を受ける）”

②秩序と規範

- 図書館だからある程度静かに！（自主規制）
  ⇒遊ばないで、勉強する？

  - “（みんな）図書館だとある程度喋りつつも、保ってるところがあるので、ちょうどいい”

  - “だって、図書館なんだから、遊んじゃいけないじゃないですか”

③幅・余地・余白

- 図書館ならば何をやっても許される
  ⇒多彩な「学習」が可能になる

  - “本を読んでもいいし、手帳に書き込んでもいい、もちろん勉強もしていいし（略）そこにいる限り、貴女は何してもいい（と感じる）”

  - “図書館だと、１人で何しても（略）
    何のお咎めもなく、自由にできるみたいな”

新しい学習環境とコンテンツは、どのように「学習」に結びついたか？

- ポイントはこうした「空気」が醸造されたこと？
  - 活発に学ぶ空気　＋　秩序ある空気
    - ALC＆図書館 → むやみに規制せず**見守った**

- 学習空間を整備しすぎないこと（自由度・余白）も大切
  - 「何をしてもよい　＝　多彩な学習が可能」…と感じるのでは？

まずは自館の学生の行動を「見る・聞く」こと？

ご清聴ありがとうございました

http://alc.chiba-u.jp/